

發行所 伯朗西爾時報社
印刷所 月刊「子供」編輯部
社 墨石 清
Director Maashiro Sampei
Radioed (Ria. Fujiwara, 196
Adm-nistrative Telephone 7-679
Office Caixa Postal 8, P.O.
總發料 (新聞一紙紙)
一 年 18000
半 年 9000
一 月 1500
廣告料
(Page) (一頁) 8,000
(Column) (一欄) 4,000
(cm of col.) (一欄) 200

工國併合承
 羅馬廿二日同盟駐
 公使は廿二日キジ宮
 アノ外相を訪問イラタ
 イタリヤのエチオピア
 承認するに決した旨通

我新銳部隊敗殘兵を肅清

【徐州廿二日同盟】徐州東南方敗敵竄蕩中的北川、萬見、齊蔭、玉田各部隊はスイ軍の掃蕩後更にその東北方竄退を銜いて廿二日天明を期して追撃を開始、午前七時國枝隊空掃蕩の爆聲と應聲してその一部は北方地區より又快速部隊は南方地區に特機、諸國隊緊密に連絡し二千の敵を猛攻、午前十一時四十五分文字通り頑強なる敵を殲滅して宿遷城内に竄落した、かくて我が新銳部隊は麗海線南部並びに津浦線東部大連河に至る地區を肅清した。

北支討匪^では師長以下武装解除

東京廿三日(同前) 大本營隊 百五、南滿洲品庫飛機七 小銃
部發表、山東駐部忠誠營 百六十一、手榴彈五百八十、
部隊は十六日未明より臨晉 軍馬六百五、其の他、また十
日、石川部隊は日賀タキを
に敗戦の追討死傷者三百の
を、同地方に七七七七七七
の武器を解除、また南口
の華兵に於いて、統
の軍隊の武器解除た
、小銃五百挺、
兵隊、小銃五百挺、

京漢線許昌、南陽を根據地に

「東京廿三日聞響」新設
發行所局長は東京明日に
かへ、東京の印を左の
くすつた
私は日本が此の事局に僅
私々たるその生活に對
に對した、これはに國力

「外」とあらためものである

海軍航空隊の舌舌

京漢線許昌、南陽を根據地に

「ハンカチ廿二日聞響」對に達した情報に依れば戰艦にある。敵は京漢鐵路沿（信陽、
標野五十里）及び龍門附近根拠に遊撃隊を配給しつつあり、大型戦車六、七十台を有す
る敵機械化部隊は、龍門から移動中であるが、これには多勢の支隊電單車隊が参加して
ゐると謂はれてゐる

敗戦支那の思想動搖

[illegible]

二日
てこれにあて兼任
とになるもので

[illegible]

解決策を前提に對獨伊交渉か

[illegible]

を繰りあげて廿二

一、フランク郡軍は直にはんとするスペイン懸形政府を組織す

一、カトリック及バスクの諸部々に翻起つた地方自治運動を以て英蘭政府は廿三日の如く議

レシハ英首相は佛普議出路の爲にブリタニア外相ヨコダ官の爲に務次官等と相討廿三日午後二時イギリス大使館で

スベイン問題極東閣議電報の中心となつた模様也

獨逸政府の對蔣政權方針の反映

「伯林廿三日電」通敵伯林に着任した新任駐蘇大使は、階級の低い階級主義者、即ちの都合を數回同廷野の後援を廿二日執行はれる豫定とに修正を加へるの必要ができたものと見てゐるが、文化政策の總綱に於て日英提携が益々強化をみつゝある中、ドイツ政府の對駐蘇大使の態度の好む所を蘇政府の好む所と爲すものとして、その目を惹く

の外は

自分は「朝鮮野の眞義をみ
自ん家に傳へんとす」といふ
人衆に導かれ、ついに日
し經濟、交際の建設にあた
つては、このと充分協調を保
ち、日本、友誼に際づく
努力する節である。

戰艦能、滿洲國、中くわ民國
三國の包摂的經濟力磨
し、東亞プロダクト總公司
を達成する爲には、兩國間
の了解と認識とがもとめら
れる。本報認むるは、この

財界有方者曰余亦出席、先づ

以上の

せる封建的社會主義、政治組織、産業經濟、貨幣により必然的に要請される革新的運動に押し出されながら、自ら意識したものでなく、偶々として成るためである。

能であるが三民主義のこの多面的適應性を利用して共産黨の勢力を借り、一矢を報じ戦線に躍り立てたのは、見事な手段である。

ひはそれを直接実行し格とにより、みんな衆愚恐怖を利用して反動運動の阻止とてゐる。彼等は、一寸

に於て

思想戰術

コンドル機出發

廿三日開會　伯林檢東
記録を日指す　盟邦ドイ
リコンドル機は愈々来
日伯林を出發　船出上
あるが準備の都合に
三日間て東京入
は翌日早朝同地を出發太平洋に單
にて伯林出發以來三日開日
ソ聯の宣傳方法
日頃より文書

愈よ明年一月一日實

突の對蔣援助露骨化に
 我方成行を嚴重監視
 盛に武器を輸送す

【春】
 以上
 員會
 可決
 失の

廿二日開書 確かな情一として我ほうでは今後の成行

二九年一月一日より本紙

り改正致します
料 金 一 千 圓
外 國 行 一 ヶ
(但 シ 前 金)
一 九 三 八 年 十 一

3365

[illegible]

をきはめるだらう
争により地盤の底

得る要國となつてゐる
舊朝鮮は赤黨と相争へ
の黄へ附つて露國に
てゐるが、露國
は露國の爲め
露國の途
を辿つて
と、附いて來てゐる
使士とともに俄爾にこれ

九席
侍とは申し乍ら

まへへの申す事はサッパリ
 ぬが、槍持が馬に乘つて
 するとその馬が舞^{マユ}れた
 で、槍持が馬から轉^{マユ}り落
 ち、其の槍の位置が人
 なる舞臺の中へ飛びこ
 んだ。
 事やあきらませ
 けと申ししたのも決
 思つておゝりななさ
 それを此方^{ココ}で聞
 田主水が歩寄^{フヨ}つ
 「其の槍もちの戦
 であつた」
 「へえ」
 上は舞臺で、



「目録を添へる職士のか」
ううう、イヤ、僕い事に
な
「う」
「職計がツ續まつ
勢が長い刀引抜いたか
サア飲んで木村屋の
職定、撫ねれで、彼が此
を、私共は此の
そと勘定を擲つたので」
「職な事はどうでも宜い
急ぐ早く語せ」
「喝する事にチャッ
ベッパッ」
「始まつた機も
が利いてゐる、師
は元を取れりませ
ん、先は九割けつと思
外、それどころでは
可、可思惟に情は職
等にゾッ」
「後それ
は、氣のと何
も例へやがあれませ
ん、それに股アへ職の主人
に相違なかつたら、其
の仕度とか申したので
これにて相替つ
行」
「七平が遺
も返す事になつ
た、此の本は職
の援助を呼
を乞つた」
「其方でも知ら
ぬが、七平が有
の申したことは
は、是の職計を授
と申す。あすに
たれたならば身
を討つとらには
し、故、其の郎は
刀たて遣はす
た、彼が實父は
て、百金を取つ
て、百金奉行を
其、七平の助が
家系平である、
は、別、八郎様
たれ、五郎は
にて討た、今
と、是は遠隔に

五千年後の世界に遺す 現代文化の萬華鏡



紐育博覽會の世紀の企

五千年後の世界に現代文化の全貌を遺す。知らしむるに充分の資料を入れた特別の金製水雷管型の袋を地下深く埋める世紀の企が米國人によつてなされた。

全觀衆を魅了

リンスで公演
リンスで公演
リンスで公演

リンスで公演
リンスで公演
リンスで公演

珈琲の大敵フロッカ發生 轉先 ウガンダ蜂を飼へ

農家心得帳
農家心得帳
農家心得帳

ビッショ 旋風荒れる

東に阿片、西にビッショ
慢性患者の神頼み
噫無情！リオでは荒療治

支那から阿片を運出
ビッショの旋風
ビッショの旋風

若人の献金

伯人教員も協力
伯人教員も協力
伯人教員も協力

採種請負業者

近々カンピーナスに集ふ
平田満氏入賞か
平田満氏入賞か

卒業式

聖フランシスコ学園
聖フランシスコ学園
聖フランシスコ学園

力強き歩調

黎明青年會
黎明青年會
黎明青年會

印刷物

廉價、迅速の
時報社へ！
時報社へ！

青年修養の資に

辯論研究會
平和植民地の催し
平和植民地の催し

昨日だけで

五コント
五コント
五コント

重要商品市況

重要商品市況
重要商品市況
重要商品市況

日本書展覽會

來月一日から
日本クラブで三日間
日本クラブで三日間

廣西省内

抗日軍備強化
抗日軍備強化
抗日軍備強化

佛壇各種

佛壇各種
佛壇各種
佛壇各種

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

同人社會事務所

同人社會事務所
同人社會事務所
同人社會事務所

峠の女性 (129)

山中幸太郎 作
木原芳樹 画



「峠の女性」は、山中幸太郎氏の代表作である。この作品は、戦前の文壇で大きな反響を呼んだ。木原芳樹氏の挿絵は、物語の雰囲気をよく表現している。物語は、峠を渡る旅の途中に展開する。主人公の心理描写が非常に繊細で、読者の心を捉える。この作品は、日本の近代文学史において重要な位置を占めている。

物言はぬ第二の戦友

傷つたてがみ撫で、

文壇部隊の感激

長い間の別離が、ついに終わった。それは、戦場の静寂の中で、二人の戦友が、互いの傷を撫で合っている。この瞬間、言葉は必要ない。彼らの心は、戦場の喧騒を離れ、静かに語り合っている。文壇の戦友たち、彼らの感激は、読者の心にも伝わる。

街の義人兵五八五五

乗り遅れた獨青年を乗船さす

感謝の手紙で判った運轉手の住話

十月五日、東京の街角で、一列の電車が停車した。乗客たちは、静かに降りていく。しかし、一人の青年は、電車の乗り遅れを嘆息していた。その時、運轉手は、手を止めて、青年を乗船させた。その理由が、青年の手紙に記されていた。それは、戦中の苦しい生活と、家族への思いだった。

名譽の義手にタクト

ステージに凱旋

音楽部長の白衣慰問

上海戦線から凱旋した音楽部長が、ステージに凱旋した。彼は、名譽の義手にタクトを握り、指揮棒を振った。その姿は、戦場の英雄と異なっていた。音楽部長は、白衣を着て、慰問を受けた。その瞬間、ステージは涙の嵐となった。

部隊の觸角通信兵の苦闘

三弾目を腹に受け

なほキーをたたく

「無電は俺の生命だ」と一語

部隊の觸角通信兵は、苦闘を続けていた。三弾目を腹に受け、なほキーをたたく。通信兵は、無線機に向かって、「無電は俺の生命だ」と一語を吐いた。その言葉は、部隊の士気を鼓舞した。通信兵は、戦場の最前線で、命を懸けて通信を続けている。

刑務所から赤い旗

歸還勇士に特赦奏請

武勳讃へて残りの刑を免除

刑務所から赤い旗が掲げられた。それは、歸還勇士に特赦を奏請する旗だった。武勳を讃え、残りの刑を免除する。この知らせは、刑務所の囚人たちに大きな希望を与えた。彼らは、戦場の勇士として、再び社会に復帰することを望んでいる。

賣り子のない賣場

すべて現金で時局向きの簡潔

南海高島屋に現はる

賣り子のない賣場が、南海高島屋に現れた。すべて現金で、時局向きの簡潔なデザインが特徴だ。この賣場は、戦中の生活必需品を扱う。顧客たちは、簡潔なデザインと、高品質の商品に感心している。

恩赦令

四人で金輪峰奪取

決死隊の決死隊

恩赦令が下された。四人で金輪峰を奪取した決死隊のメンバーが、恩赦を受けた。彼らは、決死隊の決死隊として、戦場に赴いた。その勇気と、犠牲精神は、戦友たちに大きな激励となった。

突止めた細菌戦術

敵退却部路に發生

宮川博士近く學界に發表

突止めた細菌戦術が、敵の退却部路に発生した。宮川博士は、この戦術について、近くに學界に発表した。彼の研究は、戦場の状況に合わせた戦術を開発した。この戦術は、敵の退却を阻止するのに効果的だった。

日丸丸服店

反物の御用は

廉價多買主義の

日丸丸服店

日丸丸服店は、反物の御用を、廉價多買主義で提供している。この店は、戦中の生活必需品を扱う。顧客たちは、廉價で、多量の商品を購入している。日丸丸服店は、戦中の生活を支えている。

諸の少い珈琲と支那油桐

珈琲は聖州が植えられ、然し同じ國でも他州ではほとんど植えて居る。諸

外國では又遠慮なく小犬を思はせられる。高くなる聖州の珈琲園主とは唯はす

飲まざらん。小犬を思はせられる。高くなる聖州の珈琲園主とは唯はす

昔珈琲が儲かると言ふて信じて植付けた人は實際一度は儲けた時があつた。さ

うは何時迄も柳の下には居るまい。此を思へば他の柳の下で他のさかなをさ

る必要があらう。

古珈琲園をゴショウ大に固守するより世界的に消費されゆく工業の原料を生

産する支那油桐を本でも一アルケルでも植る事はさう真面目に考へるべ

きである。

栽培に、亦生産桐實の販路に就き知りた方は御遠慮なく時報商事部に問合し

て下さい。

多産系 種子

十キロ以上 一割引

十キロ以上 二割五折

時報商事部

諸の少い珈琲と支那油桐。珈琲は聖州が植えられ、然し同じ國でも他州ではほとんど植えて居る。外國では又遠慮なく小犬を思はせられる。高くなる聖州の珈琲園主とは唯はす飲まざらん。小犬を思はせられる。高くなる聖州の珈琲園主とは唯はす昔珈琲が儲かると言ふて信じて植付けた人は實際一度は儲けた時があつた。さうは何時迄も柳の下には居るまい。此を思へば他の柳の下で他のさかなをさる必要があらう。古珈琲園をゴショウ大に固守するより世界的に消費されゆく工業の原料を生産する支那油桐を本でも一アルケルでも植る事はさう真面目に考へるべきである。栽培に、亦生産桐實の販路に就き知りた方は御遠慮なく時報商事部に問合して下さい。

突止めた細菌戦術。敵の退却部路に發生。宮川博士近く學界に發表。この戦術は、戦場の状況に合わせた戦術を開発した。この戦術は、敵の退却を阻止するのに効果的だった。宮川博士は、この戦術について、近くに學界に発表した。彼の研究は、戦場の状況に合わせた戦術を開発した。この戦術は、敵の退却を阻止するのに効果的だった。

三弾目を腹に受け。なほキーをたたく。通信兵は、無線機に向かって、「無電は俺の生命だ」と一語を吐いた。その言葉は、部隊の士気を鼓舞した。通信兵は、戦場の最前線で、命を懸けて通信を続けている。



時報商事部。多産系 種子。十キロ以上 一割引。十キロ以上 二割五折。この情報は、珈琲と油桐の生産と販売に関するものです。お問い合わせは、時報商事部まで。

増・版・増

日支事變地圖

窮鼠遁走する國民政府の

行先を掌を指すが如く知悉するには弊

社發行の本地圖を最適とす

此の際至急御申込め

定價 一葉參五(郵税別)

發行所 伯刺西爾時報社

NOTÍCIAS DO BRASIL

Caixa Postal, H - São Paulo

電話 三三三三

在サントパウロ

増・版・増

武漢攻略に満足せず

皇軍は武漢、廣東陥落を以て能事終

るものにあらず

敗殘蔣介石の死命を制する

には毫も戦の手を緩めず殲滅を計るこ

共に背後に蠢く

英佛を壓する最後の場面を